

【I 学生支援に関する組織等】

1. 学生支援に関する組織について

学生支援に関する組織について調査を行ったところ、学生支援センターなどの名称の組織で、修学支援、学生相談、経済支援など包括的に学生支援を実施している大学等が目立った。ただし、就職支援については、キャリアセンターといった名称で、総合的に行っている大学等が多い。また、ほとんどの組織に学則上の規定・学内規定・申合せ等があり、学内予算も措置されているが、学生支援委員会や就職支援委員会などの組織は、比較的構成人員が少なく、学内予算も措置されていないものが多いのが現状である。

2. 他大学等と協働した学生支援の取組実施状況について

他大学等と協働しての学生支援に対する取組の実施率は、大学全体では 15.7%となっており、実施率の最も高い国立大学でも 28%にとどまっている（表1）。

協働の具体的な取組内容としては、「単位互換」や「合同で実施する就職・インターンシップなどに関する講座・セミナー」などが多く挙げられた。また、「カルト等の対応に関する情報の共有」、「留学交流」、「学術交流」を挙げた大学等もあった。主な協働先は、地域の近隣大学、地方公共団体の就職支援センター、官公庁、地域コンソーシアムなどが挙げられる。

また、他大学等と協働して実施したいと考えている学生支援の取組を尋ねたところ、ノートテイク派遣等の「障害学生修学支援」や「学生のボランティア活動支援」、「学生相談」、「（学生支援に関する）合同セミナー」など、単独の大学等では実施困難なものについて、連携・情報交換等を実施していきたいと考えている様子が見える。

表1

他大学等と協働した学生支援の取組実施状況

